

投資初心者がたどり着く「黄金の組み合わせ」

予想を捨て、構造で生きるTAOISMの投資哲学

学問と実践は別である



経済学の役割

お金の流れの仕組みを理解する学問。しかし、それだけでは自分の老後資金を守ることはできない。



TAOISMの視点

知識だけで人生は変わらない。理解した知識を「どう生き方に落とし込むか」にこそ価値がある。

結論：感情だけで動く状態から抜け出し、「整った判断」を下すための理系的な（構造的な）理解という武器が必要である。

4つの投資手法と、その本質

テクニカル分析	ファンダメンタルズ分析	アノマリー分析	ランダムウォーク分析
アプローチ: 変化するグラフを追尾して戦う。	アプローチ: 企業の本来の価値を推定する。	アプローチ: 理由は不明だが繰り返される経験則を使う。	アプローチ: 未来の株価を当てようとする事自体を諦める。
狙い: 売買タイミングを当てる。	狙い: 市場が誤って評価している「差」を狙う。	狙い: パターンを利用する（皆が知れば効かなくなる）。	TAOISMの視点: 見えないものを追わず、見えるものを整えるための「潔い撤退」。

株価は「酔っ払いの歩み」である

すべての金融商品は酔っ払いである。



次の一步を正確に
読むことはできない。

しかし、一定の範囲を超えて
移動することはないだろう、
という推定はできる。

未来の価格を当てることを手放したとき、
不確実性の中で「何をコントロールできるか」が見えてくる。

見えないものを追わず、見えるものを整える

明日、株価は上がるか下がるか？



Return
(平均値)



Risk
(標準偏差)

どれだけ増える可能性があるか？
どれだけ揺れる可能性があるか？

予想を捨てることで、価格のブレ幅（構造）を計算することが可能になる。

現代ポートフォリオ理論という「標準偏差の魔法」

ポートフォリオとは、一つに集中するのではなく、複数に分けること。



集中

Deep Aizome Indigo Noto Sans JP



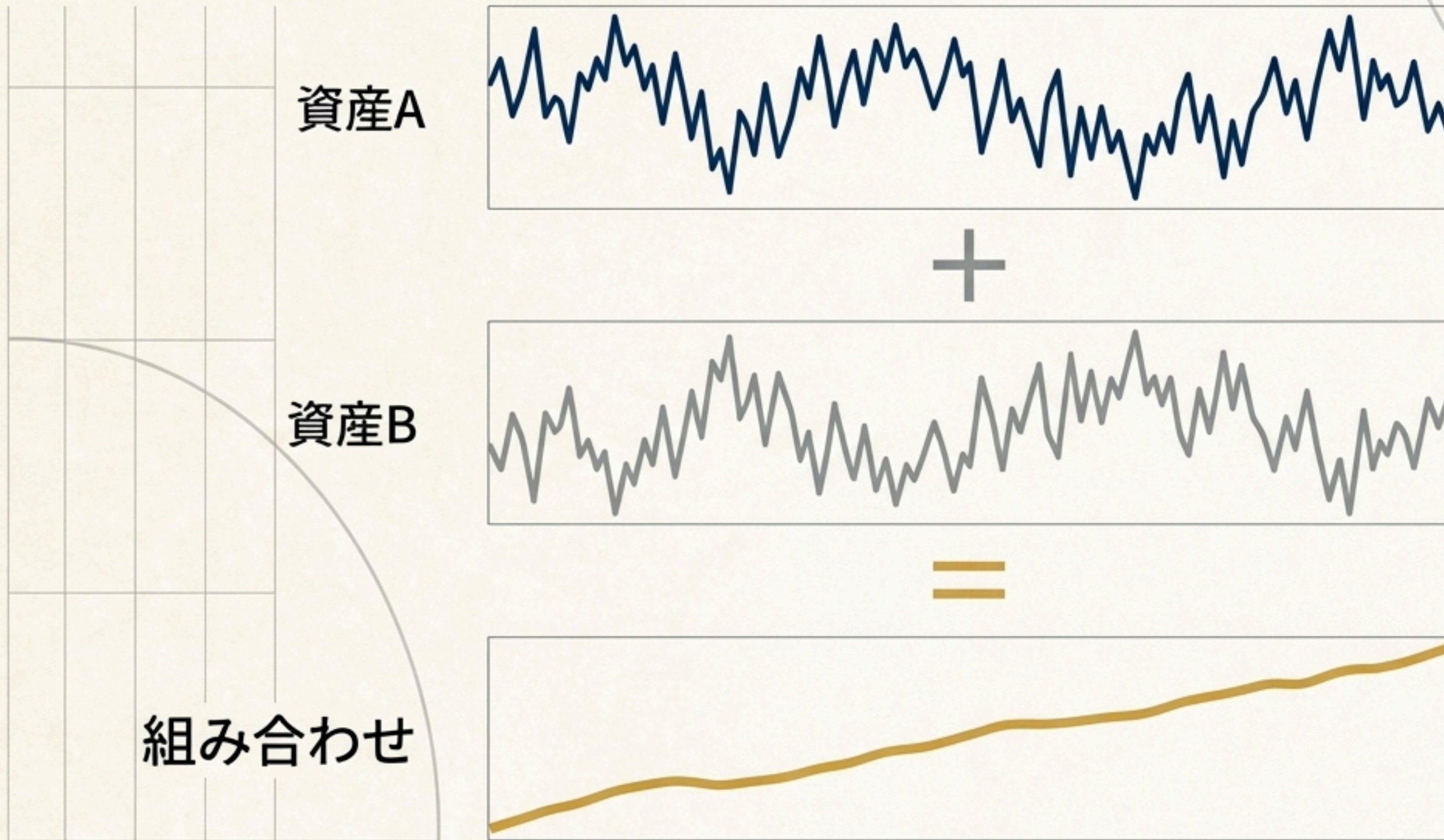
分散

Deep Aizome Indigo Noto Sans JP

Point 1：複数の金融商品を組み合わせることで、リスクとリターンのバランスを数学的に整える。

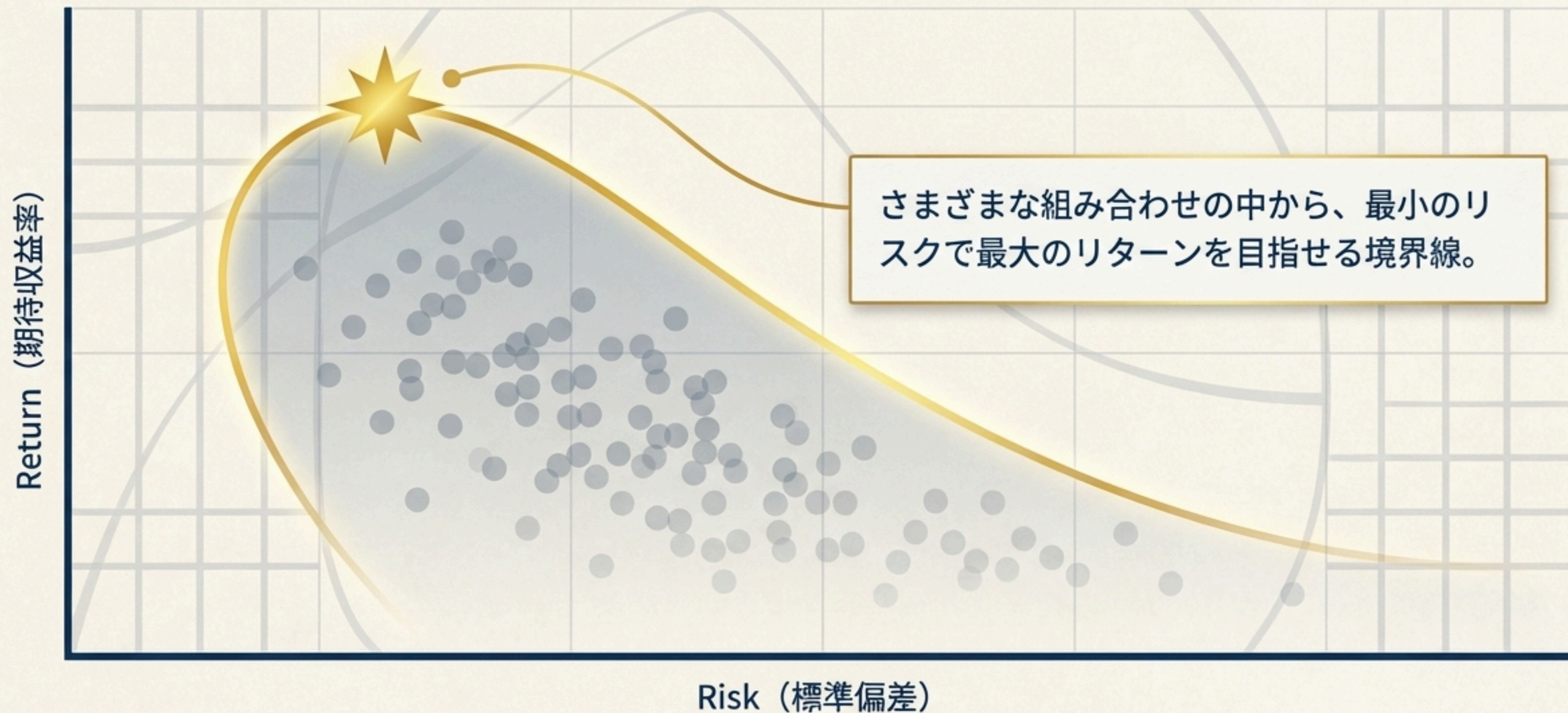
Point 2：偏りを減らし、全体の調和を取ることで、嵐の中でも崩れにくい構造を作る。

組み合わせることによって何が起きるのか



片方が下がるとき、もう片方が上がる。
この組み合わせを持つことで、全体としての揺れ幅を
揺れ幅を抑え、リスクを下げながらリターンを高める
可能性が生まれる。

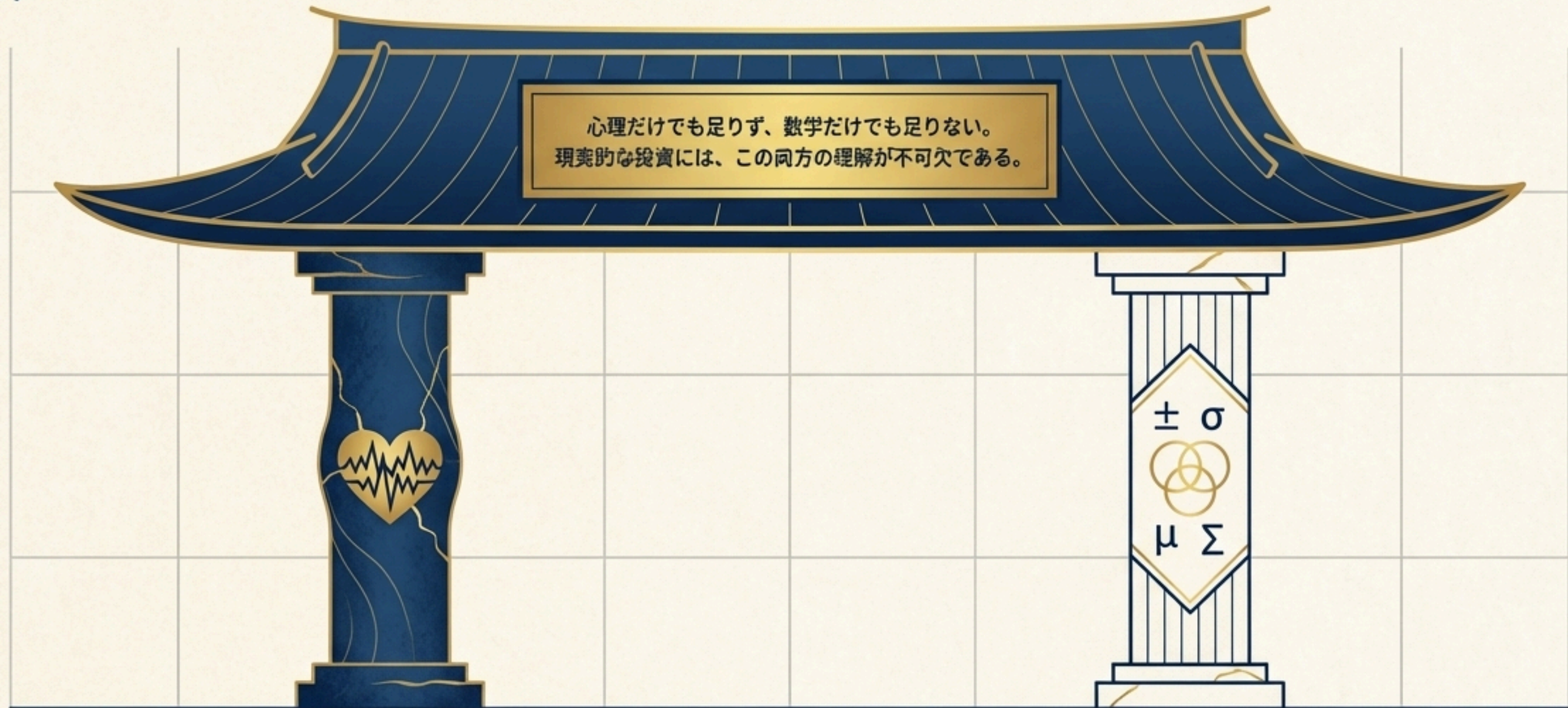
最適な調和点 「効率的フロンティア」



これは未来の価格を当てるためのものではない。
与えられた条件の中で「最も整った状態」を見つけ出すための羅針盤である。

投資理論を支える二つの柱

Noto Serif JP



行動ファイナンス (心理)

Noto Sans JP

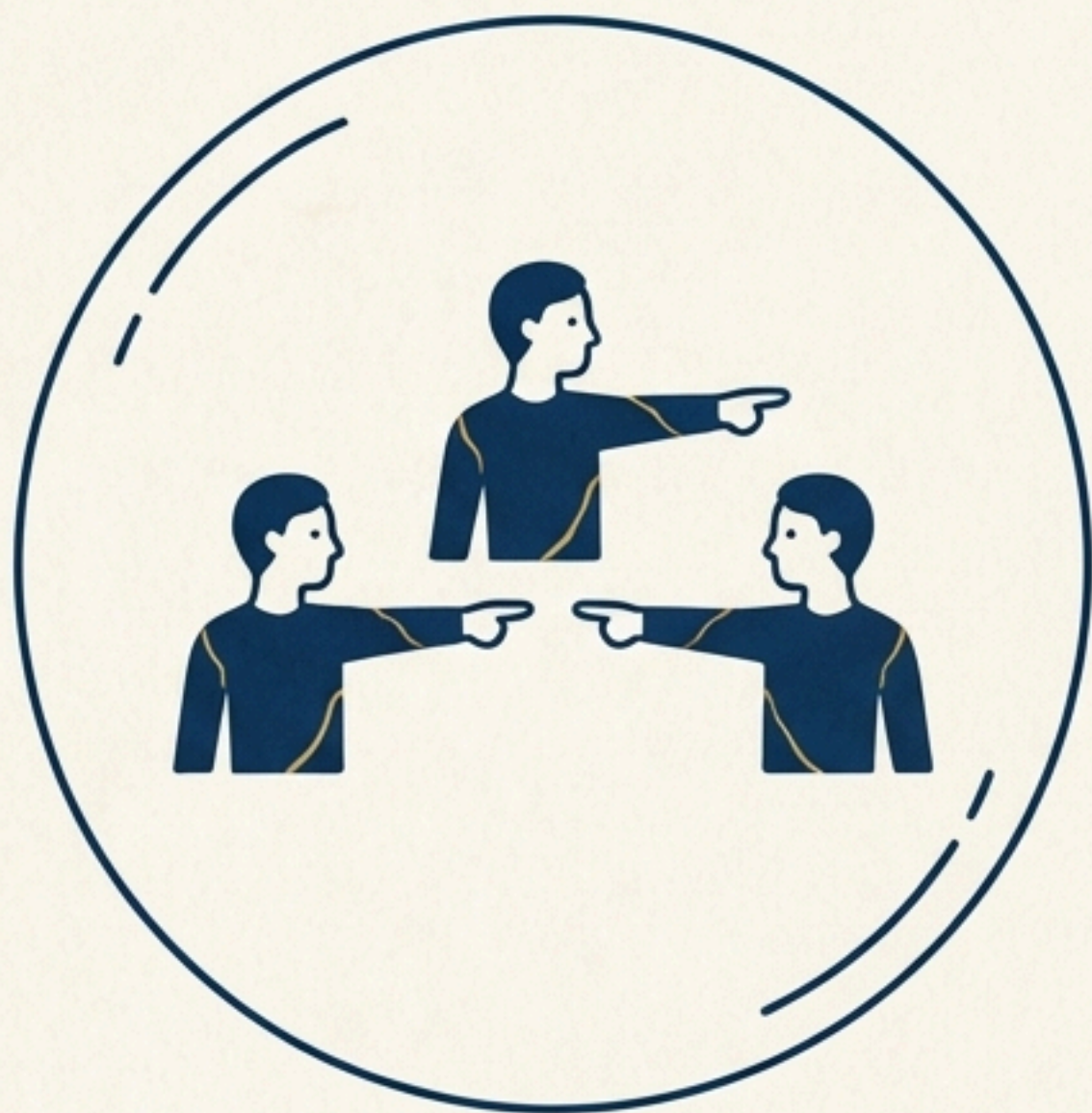
人は合理的ではない。値下がりを恐れ、値上がりに群がる。
感情が相場を動かす。

金融工学 (数学)

Noto Sans JP

平均や標準偏差を用い、数式が構造を整える。

市場は時に賢く、時に想像を絶するほど愚かになる



- 美人投票

他人の判断を読み合うだけのゲーム。

- より馬鹿理論

自分より高く買ってくれる誰かを探すだけの構造。

- バブル

人間の熱狂が生み出す非合理的な膨張。

TAOISMの視点: 市場を作っているのは人間である。市場の狂乱は「外部の騒音」と捉え、自分の内側の基準を見失ってはならない。

黄金の組み合わせ

[ランダムウォーク分析] × [現代ポートフォリオ理論] = 

未来を当てることを潔く諦める
(予想の放棄)

リスクとリターンを数学的に整える
(構造の最適化)

この二つが結びついた時、一つの究極の投資手法が導き出される。

インデックス投資の誕生

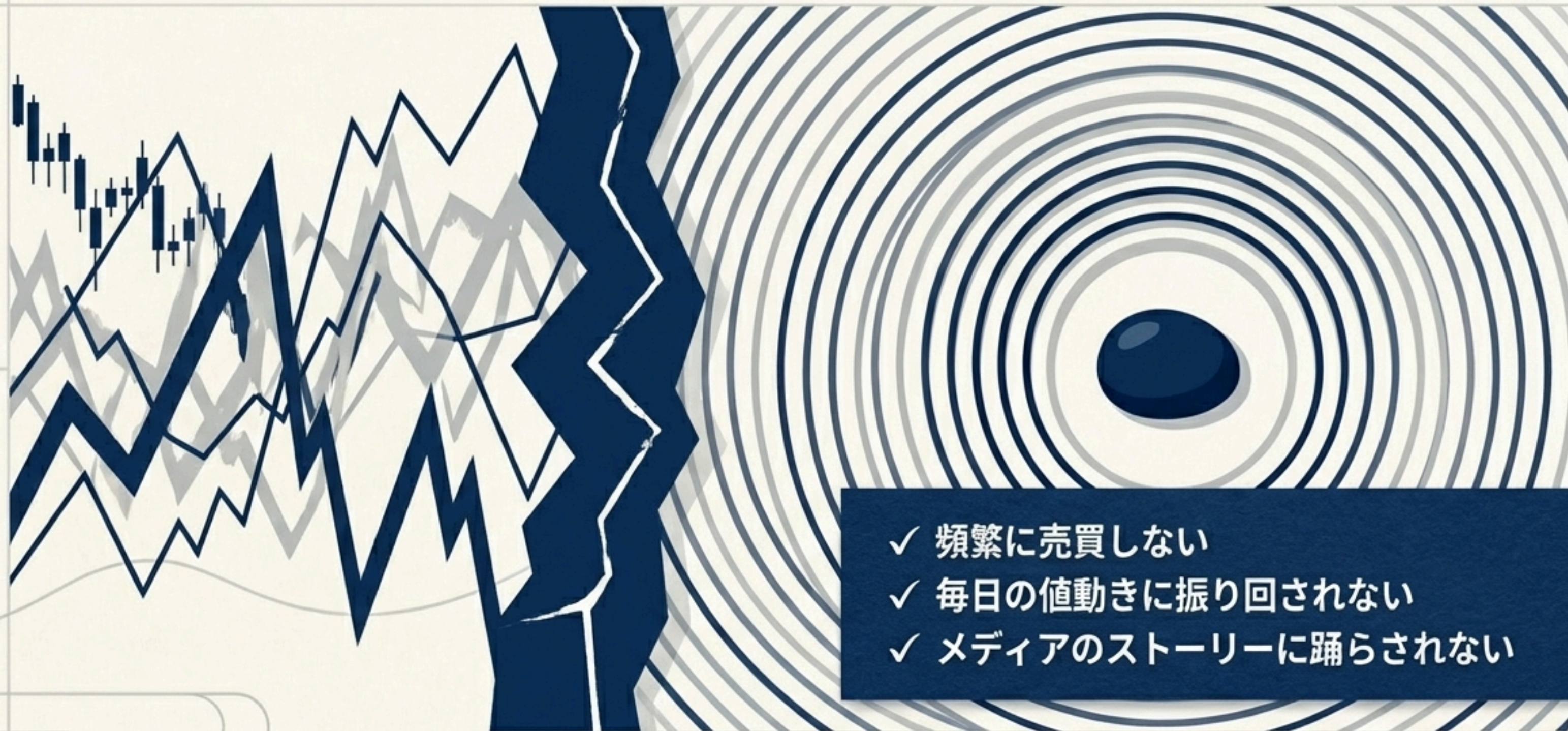
長期で見れば、インデックスから弱い構成要素は消え、強いものが残っていく。下がり続けるものを握り続けるリスクを自動的に排除できる。



個別銘柄（一滴の水）の未来を当てにいくのではなく、市場全体（海全体の潮の満ち引き）の成長を取りにいく構造。

TAOISMの視点：
個別の勝負を捨て、
流れ全体に乗る生き方。

退屈な強さ 「ほったらかし投資」



- ✓ 頻繁に売買しない
- ✓ 毎日の値動きに振り回されない
- ✓ メディアのストーリーに踊らされない

非常に地味で、派手さはない。しかし、不確実な世界を長く生き残るためには、こうした「退屈な強さ」こそが最大の武器になる。

予想ではなく構造で生きる

投資において本当に大切なのは、
未来を完璧に当てることではない。
予想できない世界の中で、
崩れにくい構造を作ることである。

- ・リスクとリターンを理解し、分散し、長期で考え、騒音を無視する。
- ・これは勝つために焦る思想ではない。整えながら続けることで、結果として生き残る思想である。